



花・植物にまつわる本

新元号「令和」によせて



植物図鑑/有川浩著

ある日道端で拾ったのは、植物オタクのイケメン。不思議なかたちで出会った2人は、徐々にお互いがかけがえのない存在になってゆく。

甘いラブストーリーと草花料理のレシピの融合。読後はいろんな意味で、道端になにか落ちているか気になるはずです。

夢幻花/東野圭吾著

花を愛する老人が殺された。孫娘は消えた黄色い朝顔の行方を追い、さまざまな素性の人間たちが彼女に近づく。

「負の遺産」とどう向き合い、どう受け継いでいくのか、3.11後に執筆されたということに、この作品の意味深さを感じます。

ルピナスさん/

バーバラ・クーニーさく、かけがえやすこやく

ルピナスさんは幼いころ、おじいさんと約束をしました。

「世の中をもっと美しくしてほしい」。おばあさんになったルピナスさんはこの約束の意味を知り、ルピナスの花のタネを村じゅうにまきました。自分の人生、生きることについて、優しい色彩の絵で教えてくれる絵本です。

100年の木の下で/杉本えり著

栗の木のある家で100年にわたる世代の女子のお話。大きな栗の木に見守られながら、それぞれの時代に女子が悩み、懸命に生きている。のちの世代が彼女たちとの血のつながりとともにそれらを感じ、普通の生活を送っていくことこそ、大切なのではないだろうか。

立山連邦そびえる富山を舞台にした物語。ところどころに出てくる富山弁で親近感がわきます。

サンネンイチゴ/笹生陽子著

なにをやっても中途半端、うまくいかない14歳妄想女子ナオミ。「近寄るとヤバイ」同級生のアサミとのつながりによって、いままで知らなかったこと、見えてなかったことに気づく。さえない自分、と思っていた妄想女子は、自分の本音に気づくことで、大切な仲間と出会います。

10代の永遠のテーマを、主人公の口調で軽やかに読み進める1冊です。

秒速5センチメートル/

深海誠原作、加納新太著

「桜の花びらの落ちるスピードだよ。秒速5センチメートル」

幼いころに出会った2人は、強い結びつきを感じるも、離れ離れに…。情景と心の描写が美しすぎて、切なさにはまってしまう恋愛物語。

他にも…

- ・愛なき世界/三浦しをん著
- ・みどりのゆび/モーリス・ドリュオンさく
- ・ターシャの庭/ターシャ・テューダ著
- ・花よりも小さく：花の詩画集/星野富弘著
- ・王国/よしもとばなな著
- ・植物のかشこい生き方：欲張らず、むだに戦わずしたたかに生きる知恵/田中修著

「令和」の由来

『万葉集』に関する本

大伴旅人が主催した宴で詠まれた、梅の歌の序文が「令和」の由来です。

万葉ハンドブック：『万葉集』の全てがわかる小事典/多田一臣編
万葉集の全容を読みわたることができる、手に取りやすい小事典。

万葉の花：江戸の植物画と現代 活け花による/庄司信洲編著

和歌と華道と本草学のコラボ。
万葉植物と日本初の彩色植物図鑑『本草図譜』、植物をイメージした活け花を紹介。

その他に

- ・完訳日本の古典1～6
- ・ジュニアのための万葉集
- ・万葉集入門（岩波ジュニア新書）
- ・口訳万葉集/百人一首
/新々百人一首（日本文学全集）

